

No. 1349

'79 国際航空宇宙ショー

— 埼玉・入間 —

アメリカ、イギリスなど世界8ヶ国から旅客機、軍用機、ヘリコプターの航空機約80機を集めた国際航空宇宙ショーが11月17日から、埼玉県航空自衛隊入間基地で始まりました。

今回のテーマは「80年代の民間航空機」。東亜国内航空が発注したエアバスA 300をはじめ新鋭のヘリコプターが次々にデモフライト。

パリ・エアショーと並ぶ世界四大航空ショーの一つとあって、家族連れなど大勢の人々がつめかけています。

徳川美術館特別展

愛知県、名古屋市の徳川美術館では、今、秋の特別展として「庭焼と藩窯」展が開かれています。江戸時代、各地の大名たちは、自国の産業政策として、藩独自の窯を作り、また藩主の好きな物を焼く庭焼を造りました。ここで作られた多くの作品は、明治維新や大戦を通じてほとんど散失してしまっているのが現状ですが、わずかに尾張・徳川家に残されています。庭焼藩窯ともに、まだその輪郭や定義が定っていないだけに、貴重な展覧会といわれています。

“東海地震” 初の大訓練

— 静岡・下田 —

貴重な財産や生命をおびやかす恐しい大地震。近い将来、予想される東海地震に備えて大規模な地震防災訓練が11月16日、国土庁など関係18省庁と静岡山梨など6県170市町村が参加して行われた。これは大規模地震対策特別措置法に基くもので昨年法律施行から初めての訓練。伊豆半島の下田市でも市民約5,000人が参加して訓練が行われた。午前9時、警戒宣言が発令されると一般住民が防災ズキンやヘルメット姿で整然と避難開始。下田港では停泊中の小型漁船約30隻が、津波を避けるため一斉に沖合に避難。下田小学校でも全校生徒約1,200人が先生の合図と共に机の下へ。過去何回か大地震を経験しているだけに子供たちは真剣そのもの、約5分で全員が校庭に集合した。午前10時30分「M8の地震が遠州灘に発生した」との想定で災害対策本部が設置され、メイン会場となった下田小学校校庭では油火災の初期消火訓練、救急救護の訓練などが次々に行われた昨年11月静岡県が発表した東海地震による被害想定では死傷者12万人、家屋全半壊19万戸、太平洋ベルト地帯ではさらに大きくなるという。いかに被害を小さくするかは住民ひとりひとりの自覚にかかっている。